

## 成田空港の機能強化について

**問** 平成30年3月13日に、成田国際空港の更なる機能強化に関する確認書が合意されました。成田空港の競争力強化、国や地域の発展が期待される一方、航空機の年間発着枠の拡大や、A滑走路の発着時間延長など、住民に更なる負担が生じることから苦悩の末の合意だと思えます。そうした中、先般、成田国際空港(株)(NAA)はA滑走路の発着時間の深夜1時間延長の時期について、2019年の冬ダイヤからが望ましいとする新聞報道がありました。確認書には、A滑走路の発着時間延長は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催までにとありますが、市長の見解を伺います。

**答** 市長 実施時期については、2020年夏ダイヤからが適当であると思えますし、2019年冬ダイヤからの開始に同意する理由も、今のところないと考えています。

**問** C滑走路の今後の整備予定について伺います。

**答** 総務部長 NAAでは、概ね10年を想定しているとのこと。

**問** 機能強化に合わせて増額される空港周辺対策交付金の交付時期、活用方法について伺います。

**答** 総務部長 交付時期は、騒防法第1種区域の申請等の手続を踏まえ決まるそうです。活用方法は、第1種区域や隣接区域以外の騒音下世帯への対応として、航空機騒音対策空調機設置事業の実施や、第1種区域の世帯における居住用住宅の固定資産税補助事業の対象の拡大、騒音下地区への騒音対策事業交付金の増額等を検討しています。



上空を飛行する航空機

**問** 蓮沼地区区長会役員から市に提出されました、成田空港の更なる機能強化の合意に伴う要望書の内容について伺います。

**答** 総務部長 要望の主な内容は、

①航空機騒音対策事業交付金の増額、使途の拡大及び提出書類の簡素化②航空機騒音対策空調機設置事業の恒久的な実施③はにわ道沿いにおける街路灯の設置④地区住民が行う道路側溝に堆積した土砂撤去作業に対する支援の拡大などです。また、県に対しても、はにわ道の維持管理及び修繕等が要望されており、市長が県の山武土木事務所及び総合企画部を訪問し、市からの要望として提出しました。

**問** この要望について、市の考えを伺います。

**答** 市長 成田空港の更なる機能強化に伴い、航空機騒音による住民への負担等で生活環境が悪化するのではないかという危機感から、要望されたいと思います。増額が見込まれる空港周辺対策交付金を、航空機騒音の影響がある地域で優先的に活用し、航路下住民の不安解消に努めたいと考えます。

**問** 航路下には、法的に定められた騒音区域外の地域が存在し、蓮沼地区もその一つです。要望書には、連日航空機騒音に悩まされている住民の不満が表れているように感じます。そこで、市成田国際空港関連問題対策委員会です十分な協議を行い、地域振興について、市長、議長から、改めて国・NAA等に地域振興策を要望してはどうか。

**答** 市長 市議会と市が一体となり行動していくことは、非常に大事です。協力していきたいと思えます。

## 防災について

**問** 台風13号の接近に伴い、市として、初めて避難準備・高齢者等避難開始を発令しましたが、防災無線・戸別受信機が聞き取りにくく高齢者等に対する配慮が足りないのではという声がありますが、どう考えているか伺います。

**答** 市長 防災無線の放送内容を携帯電話等で確認できる安心安全メールの登録を進めています。メールが扱えない高齢者等には、直接の声かけが必要ですが、市の職員や民生委員の方々で対応することは困難であるため、地域コミュニティの重要性を訴えるとともに、災害時要配慮者の個別避難計画を随時整備していきます。

**問** 防災行政無線システムの整備について、防災・復興対策特別委員会です、日光市へ行政視察に行きました。280MHz・200Wという非常に強い電波を使用しており、難聴区域はほとんどありません。多大な費用がかかると思いますが、国の補助金等も活用し、整備してはどうですか。

**答** 市長 財政的な面も含めながら、整備について検討していく必要があると思えます。



議員 高知尾正義 さんむ21